

平成27年6月度 介護・医療連携推進会議 議事録			
日時	平成27年6月20日(土) 13:30~14:30	議事録	6月20日
場所	潤生園 みんなの家ほたるだ		書記：職員
出席者	<input type="checkbox"/> Y. T 様(ご利用者様家族) <input type="checkbox"/> K. K 様(蓮正寺第5地区民生委員) <input type="checkbox"/> E. O 様(第3地区包括支援センター) <input type="checkbox"/> J. K 様(小田原医師会訪問看護 ST 管理者) <input type="checkbox"/> K. I 様(小田原医師会訪問看護ステーション ケアマネジメント) <input type="checkbox"/> R. Y 様(オギクボ薬局介護支援センター ケアマネジャー) <input type="checkbox"/> M. O 様(潤生園訪問看護 ST 管理者) <input type="checkbox"/> H. S 様(潤生園ケアマネジメントセンター) <input checked="" type="checkbox"/> K. K 様(鴨宮ケアセンター ケアマネジメント) <input checked="" type="checkbox"/> K. T (本部 常務理事) <input type="checkbox"/> H. A (れんげの里 施設長 訪問サービスセンター センター長) <input type="checkbox"/> K. I (事業者 管理者) <input type="checkbox"/> S. T (事業者 計画作成担当者)		
	(□=出席者、■=欠席者)		
配布資料	平成27年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 稼働実績表 平成27年度 ご利用者様からのご意見 訪問介護支援システム(スマケア)の概要		
内容	<p>1、開会挨拶</p> <p>2、出席者紹介</p> <p>M. S様(民生委員児童委員協議会 東富水地区会長)欠席の為、K. K様(蓮正寺第5地区民生委員)が出席。</p> <p>R. Y様(オギクボ薬局介護支援センター)初出席。</p> <p>出欠者の連絡状況</p> <p>ご利用者様：20名のうち、10名欠席の連絡あり。9名返信なし。ご利用者ご家族出席1名 訪問看護：8事業所のうち、欠席2事業者、返信なし4事業所、出席2事業所</p> <p>3、平成27年4-5月度の運営状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年度より利用者数が減少傾向である。理由として、ヘルパー数の減少の為、それに伴い新規受け入れ数に変化している。また、特に朝の時間は、空きがなく、希望される時間に行く事が難しく、契約につながらないケースもある。 ・受け入れ依頼は鴨宮方面が多いが、対応出来るヘルパー数が少ないのが現状。 ・新規依頼はあるので、ヘルパーの人数を確保する事ができれば、サービスにつなげる事ができるのではと思われる。 		

・運営状況報告に対する質問

Q. 一人一日の平均訪問回数は？

A. 1日3回の利用の方が一番多いが、1日1回、1日5回という方もいらっしゃるが、デイサービスを利用している方も多いため。平均すると2.1～2.5回程度となる。

Q. 今年度の法改正（デイサービス利用時の減算額の減少）により、限度額オーバーしているご利用者は増えたか？

A. デイサービスの利用時の減算額は減少したが、定期巡回の単価が下がっているため、あまり変わらないと思われます。

4、出席者からの感想や質問、ご利用者からの意見・感想等

◎ご利用者からご意見、感想（ご利用者より出欠票に寄せられたご意見より。別紙参照）

偶数月の第三土曜日に会議を開催しており、ご利用者のご家族が出席出来ないこともある。開催日時を変更することは可能であるか？とのご意見について、開催日の変更については、各事象者、ご利用者様、ご家族等の意見を確認しながら検討して行く。本日参加頂いている方々からの意見として

- ・事業所としては土曜日の昼間が出席しやすい。平日だと厳しい場合もある。
- ・家族としては、平日の夜などは厳しい可能性がある。
- ・元々、巡回を利用される方のご家族は、会議に出席出来ない家庭状況が多い。その為、会議だけではなく、議事録など何かしらフィードバックをしたら良いのではないかな。
- ・定期巡回のサービスは、今後更に地域へ普及していかなければならない重要なサービスであると思う。

開催日及び議事録の掲載方法（現在は、潤生園のホームページに記載）等について今後も継続して検討して行く事とした。

◎出席者の方からのご意見、ご感想。

潤生園ケアマネジメントセンター CM

ご家族が同居のご利用者は、何かあったときにご家族に対応を委ねられるが、独居のご利用者は、何かあった際にすぐヘルパーから情報をもらうことができる。

また、訪問回数も状況に応じて現場の判断で増やすことが出来るので、ケアマネジャーとしても安心してお願いすることが出来る。

小田原医師会 CM

まだ、定期巡回の連携事業所でない訪問看護事業所が多く、自分が担当している利用者で定期巡回のサービスを利用したいが、連携していない訪問看護事業所なので利用できないでいる。今後、その訪問看護事業所とも連携を取る事が可能でしょうか？

⇒今後、何処の訪問看護とも連携が取れるようになれば良いと思うが、それぞれ、事業所の都合もあるようではなかなか進まない。

小田原医師会 N s .

実際、定期巡回の介護保険で看護のサービス行っている事業所としてはどうか？

⇒潤生園訪問看護N s . より回答

潤生園訪問看護 N s .

訪問看護も単位がまるめな為、1時間の訪問であれば月2回の訪問、30分であれば、4回位の訪問を目安としている。医療保険で訪問すれば、ある程度、複数回も確保できるが、介護保険の場合は、訪問回数が多くなると、持ち出しとなってしまふ。頻回の訪問（褥瘡の処置など）の場合は、D r . に特別指示書を出して貰う等して対応できるところはしている。

ただ、当事業所は、訪問介護の事業所と同じ建物内にあるため、連絡を密にとる事ができるため、訪問看護ですぐに訪問できなくても、ヘルパーの訪問時に対応してもらうことができるため、ご利用者としては切れ目のないケアを受ける事ができる。

民生委員様

私たち民生員は、利用者と行政の接着剤としての役割を担っている。ご利用者も事業所も相応な負担が出来ればいいのではないかと思う。まだサービスを利用していない方々を包括へと繋いでいっているが、それぞれの地域によっても介入方法などが異なっている。

オギクボ薬局 CM

蓮正寺地区の民生委員さんからは、直接連絡を頂く事も多い、サービスへと繋げやすい。自身の担当ご利用者様が緊急時に転倒されていることが多く、自分ではコールを押せないこともある。その為、転倒して身体が痛い状態であっても、ヘルパーが来るまで待っている現状となっている。そのようなご利用者でも、どうにか押せる緊急コールはないのだろうか。定期巡回のサービスを利用していることで、在宅での生活が送れている。

第三包括 CM

以前、独居の肝性脳症のご利用者を担当していた。その時に定期巡回のサービスを利用したが、訪看と連携を取りながら、ご利用者が望む自宅での生活を送ることが出来ていた。定期巡回というサービスは、ご本人が望む限りの在宅生活を送ることが出来る。

ご利用者ご家族様

自分も要支援であり、奥様にリウマチがある。自分で出来ることはやっているが、衣類のボタンをしめられない。買い物や洗濯は自分がやっている。靴下を履くことが億劫になっている。民生委員が新聞を出してくれることや、地域との交流もあり有意義に過ごせている。サービスがあることで、助かっている。

センター長

一事業所の運営推進会議だが、地域の方が顔を見合わせながら話し合える場所があるのは良いことだと思っている。平成 30 年の法改正が大きく変わる予定であり、生活援助など大きな動きがある。そのため、様々な職種が集まる大事な場所だと思うので、今後とも続けて行きたい。

5、その他、

・訪問介護支援システムについて

訪問看護事業所でも興味を持たれている事業所があり、資料を使いシステムの説明を行う。介護分野でも IT 化が進み、普及してゆくサービスと考えられる。情報の共有化、データベース化、リスクマネジメント等にも活かせるサービスである。メリット、デメリットもある。システムは進化しているので、皆さんと協力し普及して行きましょう。

6、次回の開催について

次回の開催予定日が 8 月 15 日（土）とお盆期間中にため、後日、連絡する事とした。

7、閉会挨拶（池野）